

山上単独犯、これだけの疑問、真相究明の必要性

《奈良県警への疑問》

- 1, 不可解な事が多過ぎる（この規模なら：警察官 50 人、機動隊員 20 人は必要） 奈良県警の警備体制は、人員が少なく、警備マニュアルを無視していた。同時期の九州の応援演説では、安倍元総理を囲むように沢山の警備要員が居たという。選挙カーを暴漢者へのディフェンスとして用いていない。立憲民主党の申請は保安上危険として不許可としている。
- 2, 安倍元総理が暗殺される大失態を晒した当事者の奈良県警が事件を検証するのは異常事態。他府県警や警察庁に担当させるべき事案です。更に、現場検証が事件から 5 日も過ぎてから初めて行われた（狙撃弾を発見するまでの間は通行止めが必要なはず）のも異常。
- 3, 奈良県警による事件現場の検証記録が、事件当日多くの聴衆により撮影された映像記録とは明らかに異なっている（捏造されている）山上の立ち位置、狙撃位置等。井上文二氏による映像分析による検証で捏造が明白。
- 4, 事件後、山上の自宅から数丁の手製銃が押収されているが、段ボールにも入れず、目隠し用のブルーシートも使用せずに、TV 視聴者にわざわざその押収物を見せるかのように映像配信されました。
- 5, 事件当日から奈良県警は、山上の供述の裏も取らずにメディアにリークしています。組織的なものである可能性が否定できない段階で確定的な事のようにリークしている。ミスリードの意図があったのかと疑います。
- 6, 事件の翌日からは山上が旧統一教会を怨んでの犯行と言っていると奈良県警がメディアにリークしました。組織的な犯行の可能性を犯行の翌日に否定したかのようです。
(山上の供述が 100% 真実？と信じて裏も取らずにリークしている？)
- 7, 統一教会奈良県本部の壁に試し打ちした玉とその穴。立体駐車場壁の銃弾の痕と玉、選挙カーの銃弾の痕、これらは事件後に作られた可能性が大きい。①パチンコ玉は真っ直ぐに飛ばない ②強い衝撃を受けた壁や看板には丸い穴のみで周囲にヒビも亀裂も無く不可解。選挙カーの看板の穴が開いた裏の亚克力看板に何故傷も無いのか？③当日の車とテーブルランプの形、ホイールカバーの形が違うという指摘あり。④選挙カーの付近にも聴衆が居たにもかかわらず、それを見た者も銃弾が直撃した音を聞いた者もないという。
- 8, 仮に組織的な暗殺であれば、山上以外にスナイパーなどの実行班・そのサポート班・指令伝達班・証拠隠滅班等十数名が必要。何故、奈良県警は徹底した事情聴取をしなかったのか？
- 9, むしろ、事件現場を保全せず、現場検証も 5 日後。ご遺体も保存をせず火葬にしたのは何故か。
- 10, 山上が逮捕された後の 7 月 25 日から精神鑑定が行われたが、異例の 5 か月半に及んだ。鑑定は再々延長を申請したが、山上本人は、語ることは全て語ったので何も無いとして打ち切られたという。不可解さが残った。精神疾患は何も無かった。
- 11, 初公判が事件から二年以上も経過しているのに行われていない。お未だ (R6 年 2 月)

に起訴状すら公開されていない。

《救急救命医の記者会見と司法解剖の結果は、全く異なっている。》

12、心臓の壁に致命傷となった大きな穴があった ⇨ 心臓には傷が無かった

13、射入口は右側頸部に極めて小さな穴が二か所、射出口は左上腕部前方 ⇨ 射入口は左上腕部中央に一か所、頸部は射出口 (Dr へりの救命医と奈良医大の見解は一致。)

《メディア報道への疑問》

14、7月9日朝刊の大見出しが全社完全に一致している(各社のデスクではなく他の部署からの指令が出たかのように(安倍元首相撃たれ死亡、参議選、街頭演説中、容疑者「宗教団体に恨み」)

15、事件の2日目以降は、奈良医大と司法解剖の発表内容が全く違う事に対する追跡取材が行われることが無く、新聞・TV 全社が旧統一教会問題一辺倒となってしまった報道(可笑しな一致) 山上単独犯に対する数多くの疑問があるにも関わらず、組織的な犯行の可能性に言及したメディアは皆無。

16、国葬儀反対の小規模なデモがあたかも大勢の如く報じられ、沿道に6時間も並んで(最終者は21時過ぎ) 献花するという映像配信がまともに成されなかった。

17、物的証拠・デジタル証拠を示し、極めて高い検証力によるものまでを産経、読売新聞までもが陰謀論と報じる。しかし、各社独自の検証は一切ない。

物的証拠(狙撃の傷、山上の銃、スーツ、バッジ、マイク)

デジタル証拠(銃声などの音響データ解析、カメラ撮影の画像データ解析)

証言(銃声は3発聞いた等)

その他(メディアによる事件映像の改ざんが幾つも確認される、米国では手製銃やパチンコ玉の試射実験があり、山上の銃は空砲と推測される等)

《国会・国会議員》

18、憲政史上最長の政権を率いた人物が暗殺されたというのに真相究明をしようと声をあげる者は極々少数。清和会の議員等は何故真相究明を求めないのか?

参議院議員青山繁晴氏などは「そのような事をするとなりのためになりませんよ」と警察庁の幹部から圧力を受けた。(動画で真相究明を配信している人々にも様々な圧力が掛けられたようです)

《その他の疑問》

19、山上徹也容疑者以外のプロの狙撃手が、安倍元総理暗殺を実行し、そのスナイパーが逃亡しやすいようにする目的で山上徹也が、カモフラージュの発砲を2回、行ったという可能性がある。実弾が入っていれば、強い反動、銃身が破裂している。音響解析に実弾無し。

散弾であれば、周囲の人物が被弾していなければおかしい。

20、奈良県立医科大学病院の医師の記者会見によると2発中1発は盲管銃相であった。消えた銃弾。証拠の致命弾が見つからない。体を貫通したという銃弾、往來の激しい車道で5日後に見つかったという銃弾に信憑性はあるのか？

21、安倍元総理が、銃弾に倒れた直後、何故警備の者たちはよそ見をしており、誰も駆け寄って居ないのか？1発目で安倍氏に覆いかぶさるといふ警護の基本が成されなかった。

22、山上徹也容疑者が、発砲する目的で車道に出てきた時点でゼブラゾーン以外に配置されていた警備要員は何故一人も山上を静止しようとしなかったのか？

23、安倍元総理が銃弾を受け、奈良県立医科大学病院に搬送されるまで50分間も要したのか？止血が救命の要であるのに、銃撃現場から4Km以内の場所に救急総合病院として、国立病院機構・奈良医療センターと済生会奈良病院があるにも関わらず、わざわざ救急ヘリで遠方に搬送したのか？この判断は誰に指示したのか？

24、山上徹也の動機は、母親が統一協会に多額の寄付をして、一家が破産したことへの怨みだというが、それは20年数前の出来事であり、当時の献金の半額5000万円は毎月15万円づつ返金(20年と数か月間)されたという。殺人の動機になるものか？山上は安倍元総理に個人的な恨みは無いと言っているとの事と矛盾している。

25、山上が奈良統一教会に試し打ちをしたというが、試し打ちとは致命傷を負わせられるか否かを確認する為に行うもので、犯行後に統一教会に恨みがあったからとだという証拠を残すために行うものでは無いはず。住宅街で発砲すれば、事前に逮捕される可能性すらあらにも関わらず。また、地域住民で発砲音を聞いた者は居ない。

26、事件当日の映像を見るとゼブラゾーン内に居たカメラマンの行動は、狙撃があることを事前に知っていたかのようにみえる反射行動をしている。1発目の発砲の直前に撮影を止め距離をとり、発砲と同時にこのカメラマンだけがしゃがみ込んでいる。他の人々は、何が起きたか解らず、轟音が発せられた方に目をやっている。このカメラマンの立ち位置、カメラの向きにも疑問がある。(1、安倍元総理の真後ろから撮影(空間を確保か?) →移動(山上の移動とほぼ同時) →安倍元総理の右広報から撮影(カメラの照準がJR西大寺駅階段付近に当たられているように見える))

27、元総理の演説中に後で台車を押す男性と自転車に乗った男性が車道を通り過ぎる際、ゼブラゾーンの二名は数度会釈している。そもそも警備に当たる警察がこの二名の車道通過を何故許したのか？警備員は気を取られて二名を目で追っている時に銃撃があったと言っているが、アリバイ作りの工作とも受け止められる。

28、反対車線から同時期に犯行現場に入り込んで来る自転車の男性は、発砲と取り押さえる現場をみているにも関わらず、驚く様子もなく、自転車から降りるでもなく、平然とその様子を見ながら通り過ぎて行く。この年配の男の振る舞いには、疑問が残る。

29、安倍元総理の応援演説は、長野県から京都府へ、更に事件前日に自民党奈良県連の要請で西大寺に変更された。一般への周知はしていない。山上は7日の岡山からの新幹線の車内に居た時に自民党ホームページで知ったと供述。(この時点でターゲットを韓総裁から安倍元総理に切り替えたというのか？日本の会長や韓国から派遣されている総会長にしな

ったのか?)

30、事件当日山上の近くに居た女学生風の服装をしたヘッドホンの女性は、5月18日宏池会の政治資金パーティに参加している女性と同一人物に見える。映像に、頭を右に傾ける素振りも同じ。

31、安倍元総理が倒れたゼブラゾーンに駆け寄った深い帽子・黒の大きなサングラス・大きいマスク・腕サックの中年と思敷き婦人は、終始ガードレールに額を付けて暫らくスマホで何処かに報告しているように見える。気が動転しているようには見えない。怪しい。

32、安倍元総理がスーツの襟に付けていた議員バッジは銃弾により6つに割れ、ブルーリボンバッジは2つに割れて国葬儀の斎場に供えられていたのを報道で報じられました。銃弾で割れた音声はバッジがマイクのすぐそばにありながら記録されていません。誰がこれを壊したのでしょうか？

33、安倍元総理の背広の両襟には銃弾による解れ傷が確認出来るが、これを見れば弾は右襟をかすめ左襟の裏側から入りバッジのあった付近から抜けているように見えます。

弾は、山上側から出がなく、反対側から撃たれたという証拠です。

34、日本の国会・裁判所(最高裁)・警察検察・メディアは分立しているとは思えません。何れから指示と許可なく独自に判断出来ていないという印象が日に日に強く成らざるを得ません。